

令和2年 第2回 雫石町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和2年10月20日(火) 午前9時30分から午前10時50分

2 場 所 雫石町役場 2階 201号会議室

3 出席者

町 長 猿 子 恵 久

副町長 若 林 武 文

教育長 作 山 雅 宏

教育長職務代理者 岩 持 斗季子

教育委員 吉 田 博 輝

教育委員 千 葉 昇

教育委員 菅 原 徹

4 説明のために出席した職員

教育次長 高 橋 賢 秀

生涯学習スポーツ課長 徳 田 秀 一

学校教育課 指導主事 高 柳 利 幸

課長補佐 矢 幅 泰 子

政策推進課長 古川端 琴 也

主 査 吉 田 耕 大

5 傍 聴 者 な し

6 挨拶

猿子町長：教育委員の皆様には大変お忙しい中、ご出席賜りまして厚く御礼申し上げます。また日頃は本町の教育行政に関しましては皆様のいろいろなご意見の下に施行させていただいていることに対しまして、御礼申し上げます。

順当な教育行政の中で御明神小学校の大規模改修工事も終了し、快適な環境で学習できています。

現在、西山小学校及び雫石小学校でもトイレの改修工事を実施する

ところでございます。教育の環境を整えるということが行政の立場の中でやらなければならないと思っております。

今日、新聞を見て非常にうれしく思ったのは雫石中学校の生徒が雫石高校を見学したこと、非常にうれしい気持ちであります。こういうことを度々なんとか教育行政の中でやっていただいて、やはり雫石高校の存続というものがまだまだ雫石町にとっては一つの課題でありますし、必ずや残さなければならないと思っております。どうか一つ、そのことも踏まえながら教育委員の皆様には本日の総合教育会議においてご忌憚のないご意見を頂戴しながら今後の教育行政を進めて参りたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

作山教育長：定例とは申しても町長、副町長、本当にご多用のところご対応いただきましてありがとうございます。また早朝から教育委員さん方にもご対応いただきましてありがとうございます。

第1回の総合教育会議においてもお話しいたしましたが、新型コロナウイルス感染症予防については、年度当初からその対応が変化してきています。今後は、クライシスマネジメント管理、起きたらどうするかという方に軸足を据えなければと思っております。

また、町長さんには、図書カード贈呈式や御明神小学校の給食対応など快くご対応いただきありがとうございました。

7 議 題

(1) 事務事業の進捗状況について

町 長：健やかな体を育む環境づくりの中で肥満について、西山小PTAより言われていることであるが、肥満度が上がっているので歩いて登校させたいが、何かその点について進んでいることはありますか。教育次長：スクールバスについてまだ実際にどこで降ろすことができるか具体的にどのくらいの距離を歩かせるか、バスを旋回できないかなど、検討が必要です。

教育長：学校では行間休み時間の工夫をしなければならないということで、20分休みで運動をすることで動いております。

教育次長：PTAの方に確認したいと思えます。

岩持委員：安心安全な学校づくりの「雫石らしさ」を生み出すための地域に信頼される学校づくりという観点で、雫石でも教育委員会と雫石史談会が共催で、毎月1回、町内の歴史を学ぶ機会がある。自分たちが住むふるさとについて学習することはとても良い。子供ならではの観点からの発言もあります。ふるさとを離れた時に雫石の良さがわかると言いますか、生まれたところがどんな所かをきちんと正しく理解させておくべきで、その良さがわかれば故郷に対しての愛着心をもって戻ってくるのではないかと思います。

(2) コミュニティ・スクール制度移行の進捗状況について

菅原委員：すっきりしていて取組みやすいと思う。地域の声も学校に活かせるし、学校の声も地域に活かせる。地域学校活動推進員を学校ではなく教育委員会に置くことで各学校との差がなくなると感じました。

以前から行っている教育振興運動の5者会議には、子どもが入っており、子どもなりの意見を言っていたが、子どもたちの意見をどうここに入れていくのか。子ども達からの意見集約をするか、学調の結果などを入れて会議をすすめてみてはどうでしょうか。

教育長：地域への学校からの発信、教育レベルの地域課題ですのうちの学校は読書が足りないとかそういうレベルの地域課題ですが、そういうことに対してあるいはうちの地域は老人は多いがさっぱり子どもたちの姿が見えない等、そういうことに対して仕掛けて子どもの意見を吸い上げながら学校運営協議会の中で校長や副校長、教務主任等がやっていくなど、具体的な時に子どもの意見を取り込んでいかなければだめだと思いますし、特に中学校では今、話しをしており、まだ具体にはなりませんがおそらく中学校の地域生徒会というものが絶対必要になって来るだろうということで、それを作ろうと思っております。保護者の地域保護者会のようなものはあるようですが、それを地域生徒会として子どもたち自身が地域のマンパワーとして、どうやっていくことができるのだということを考えさせていく仕組みを、この教育振興計画の中で現校長がいる内にやろうということは話しておりました。そういう中で子どもの意見も取り込んでいかないとだめだというのはその通りだと思いますし、心していきたいと思っております。

千葉委員：コミュニティ・スクール導入に向けて、これからの教育のあるべき姿として、コーディネーターは、将来的に考えた場合、学校と地域とを繋ぐ役割の人なのだと言うことを考えれば、各地域公民館に居る職員、いわゆる町の職員ではない方が今配置になっているので少なくとも地域のことを一番熟知している人というふうに理解できますが、そういう方あるいはそういう意識のある方をお願いしてみてもどうでしょうか。

教育長：地域づくり推進課とも協議しましたが、学校における地域課題と違いがあると感じております。コーディネーターを見つけるのが一番大変だと思います。それぞれ適任の方がおいででしたらぜひ推進していただきたいと思っております。

(3) 学校の働き方改革について

菅原委員：学校部活動と土日の地域部活動をわけるということは、簡単なことではないです。土日の練習試合の結果をフィードバックして普段の練習をここで強化しようかというのもあるので、休日と平日の指導者の違いをどう擦り合わせていくかということが簡単ではないと思

ます。

教育長： お話しの通りそんなに簡単な話ではないということです。この後、新たな組織を作って専門の調整役を作るなど、いろいろと想定されますので、来年度から動き出すということで今回、お話しさせていただきました。

【全体通してのご意見等】

吉田委員：豊かな心を育む環境づくりのところで、不登校についてですが、何かしらのサインを出していると思われることや、学校や家庭での目の届かない時間帯があるかと思えます。どこかでどなたかが気づいてあげられればという思いがありますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

また、保護者の立場から、コロナ禍の中で、中学校の体育祭や修学旅行などの行事をやっていただいたことに保護者の方々から実施できてよかった、子ども達からも大きな思い出ができたということで大変喜んでいたので感謝しております。

千葉委員：小学校における家庭問題など、改めて町内にこのような事例があることを認識したところです。

また、令和元年度の決算を見ると、教育費が町全体で2番目に予算執行されており、教育環境を整えていただいていることを改めて認識しました。

菅原委員：先ほど、話題になった肥満について、統合して歩く機会が減ったという話ですね。そういう問題もコミュニティ・スクールで取り上げて学校だけとかPTAだけではなく、地域全体で取り組めるようなことを始めることに意味を持つのだろうと感じました。

岩持委員：滝沢市では入学式後に多動などについて正しく理解するための保護者向けの勉強会をする機会があると聞いています。また、母子家庭などに食で支援できるように、雫石町は他の町からみると子どもに一生懸命、心配りいただきありがたい町だなと改めて認識していますが、ぜひもっとも子ども達にいろいろ配慮いただければありがたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

8 その他

特になし

9 閉 会